

ごみ処理にかかる経費（令和6年度実績）

区 分	収集・運搬に係る経費 (千円)	処理・処分に係る経費 (千円)	管理に係る経費 (千円)	経費合計 (千円)	処理量 (トン)	1トンあたりの経費 (円)
普通ごみ	5,496,610	5,252,520	388,936	11,138,066	214,970	51,812
粗大ごみ	543,269	648,762	127,776	1,319,807	10,820	121,978
資 源 物	2,932,220	666,036	159,169	3,757,426	48,051	78,197
合 計	8,972,098	6,567,318	675,883	16,215,298	273,841	59,214

※合計行については、四捨五入の関係で一致しない場合があります。

1年間の経費		16,215百万円
1トンあたりの経費		59,214円
1世帯あたりの経費		20,681円
1人あたりの経費		10,449円

世帯数(令和6年10月1日現在)	784,086 世帯
人口(令和6年10月1日現在)	1,551,788 人

ごみの減量・リサイクルの推進に向けた取組

ごみの適正排出・分別の徹底に向けた各種広報

◆資源物とごみの分け方・出し方の作製

家庭から出る資源物とごみの分別の仕方をわかりやすく記載したパンフレットを作製し、配布しています。
また、外国人市民向けに7か国語版を作成しているほか、「川崎市ごみ分別アプリ」を配信するなど普及広報の充実を図っています。

◆各種イベントにおける普及啓発

かわさき市民祭りや区民祭等のイベントに参加し、3R推進キャラクター「かわるん」を活用した広報を実施するとともに、タペストリー展示やリーフレットの配布等により、資源物とごみの分別ルールと排出マナーの徹底及び3Rの普及啓発を図っています。



市民祭り



かわさきSDGsランド

◆3R推進デーの実施

広く市民に3Rと分別排出を普及・広報するため、原則として毎月3日にごみ集積所での排出指導や駅前、スーパー店頭等での啓発キャンペーンを実施しています。



3R推進デー



◆ごみ相談窓口の開設

市民にとって身近な場所である区役所において、毎月第4土曜日の午前9時から11時（幸区役所は第2、第4土曜日の午前9時から12時）の間にごみ相談窓口を設置し、資源物とごみに関する相談や古着類の受け取りなどを実施しています。

※川崎区については大師支所仮庁舎・川崎区役所で実施しています。

（大師支所仮庁舎：第4金曜日の午前9時から11時まで、川崎区役所：第2土曜日の午前9時から11時まで）



ごみ相談窓口

◆災害発生時のごみの分別方法等の周知

市ホームページへの掲載や備えるフェスタ等のイベントにおいて、災害時の分別方法等について分かりやすくまとめた冊子を配布し、平時から市民等に周知を図っています。



冊子「災害が起きた時の「ごみ」のこと」